

Q&A SCRIPT (JAPANESE)

MR. IEMURA: ジョセフさん、ハイメさん、マルガさん、よろしくお願いします。本日は、鉱業部門について詳しくお聞きしたいと思います。マルコス新政権のもとで、鉱業部門は注目株だと思います。そこで、鉱業部門について詳しくお聞かせください。露天掘りが許可されたことで、フィリピンの鉱業部門は大きな可能性を持っています。

MR. JAIME: まず、タンパカン鉱山に関する新しいニュースについて、そして、鉱山に関する外国人の所有権に関する制限について、さらに、タンパカン鉱山の露天掘りによって影響を受ける可能性のある銘柄についてお話ししたいと思います。

MR. IEMURA: では、今、この持ち主は誰なのか？

MR. JAIME: で、この持ち主.....今、検索してみました。これの所有者は 現在、サジタリウス・マインズ社という合弁会社が開発中です。SMI、証券取引所にはないようです。このジョイントベンチャーは、世界的な大企業であるオーストラリアのグレンコアが手がけています。オーストラリアの鉱山会社ですね。そうです。そうです、そうです。そしてタンパカン・グループというフィリピンの企業です。

MR. IEMURA: このプロジェクトに調査会社が参加する可能性はあるのでしょうか？

MR. JAIME: 少なくとも上場企業がこのプロジェクトに参加するという話は聞いていません。なぜなら、彼らにはすでに自分の採掘エリアがあり、そこにはまだ開発可能な埋蔵物がたくさんあるからです。また、この鉱山全般の話から始めようと思います。この地域の露天掘り禁止を覆したというニュースをご存じでしょうか？この地域は、東南アジア最大の未開発銅金鉱区として注目されているからです。現在、平均37万5千トンの銅と36万オンスの金が採掘できる可能性があります。年間平均37万5千トンの銅と36万オンスの金を産出する見込みです。この新しい露天掘りリフトについて、周辺の住民や一般市民から抵抗があるのは明らかです。でも今のところ、この開発は少なくともフィリピン証券取引所に上場している鉱山会社には影響を及ぼしていないと思います。

MR. IEMURA: 一つお聞きしてもいいですか？

MR. IEMURA: このプロジェクト自体は非上場会社が所有し、Ozzyと共同事業を行っています。従って、上場企業には直接の受益者はいません。

MR. JAIME: 私たちが知っているわけではありません。

MR. IEMURA: しかし、このような大きなプロジェクトが始まったことで、上場している鉱山会社にとって何か良い影響があると思いますか？

MR. JAIME: これらの上場企業が、他の地域でより多くの採掘を行う可能性があります。しかし、私が知る限りでは、少なくとも私たちがカバーしている2つの主要企業、フィレックスとエイペックス・マイニングは、後で取り上げますが、彼らは、オープンマイニングのアイデアにはまだ前向きではありません。特にフェリックス・マイニングでは、会長のマニー・パンギリナンが、露天掘りではコストがもう少し厳しくなる可能性があり、地下採掘を行う計画をすでに長期的に持っていると言っていたように思います。また、ボン・ボン・マルコス上院議員の政権がどのような計画を立てているのか、まだよく分かっていません。ボン・ボン・マルコスは採掘には前向きですが、特に持続可能な採掘と述べています。ですから、彼の政策がどのようなものなのか、特に露天掘りについてどのようなものなのか、まだ分かっていません。露天掘りの解禁はドゥテルテ政権のものであり、ボン・ボン・マルコス政権のものではありません。ですから、まだわかりません。

MR. IEMURA: まだわからないが、私たちは 彼の動きと決断に注目したい。

MR. JEFF: 補足ですが、現在、ハイメが言ったようにリフト会社はないのですか？彼はACRなので、それも統合されたリソースにあります。

MR. IEMURA: どれだ、どれなんだ？

MR. JEFF: ACRです。

MR. JOSE: ACRIは上場企業です。そして、ACRの親会社は、私の記憶違いでなければ、特定の人物のピッチは覚えていませんが、タンパカン鉱山の一部所有者です。

MR. JEFF: ただ、私の経験では、このプロジェクトが上場されれば、外国人の鉱業に対するセンチメントが改善されるのではないかと考えています。しかし、通常、ここフィリピンで行われるのは、バックドア、つまり裏口から行動することです。例えば、上場企業として鬱屈した時間を過ごし、それが運営できるようになったことを受け入れなければなりません。そして、その会社や事業体を上場させようとするわけです。私は経営陣と話をしたことがないので、あくまで推測ですが。

MR. IEMURA: (日本語で) わかりました、ありがとうございます。次へどうぞ。

MR. JAIME: この法律では、ドゥテルテ大統領がフィリピンでの新しい鉱業事業のライセンス発行を禁止していましたが、昨年、たしか4月に解除されました。これによると、天然資源省は2種類の最小鉱物協定を締結することができます。そのうちの1つは、金融または技術支援契約と呼ばれるもので、タンパカン鉱山は現在、先ほど申し上げたジョイントベンチャー企業との間で締結されているものです。外国企業が100%所有することも可能ですが、一定の要件を満たす必要があると思います。例えば、一定の投資額が必要で、2年間の探査プログラムなどを行う必要があります。また、外国企業が参加するためには、一定の投資額や最低投資額など、事前に必要とされる条件があります。もう一つは、鉱業生産分与契約と呼ばれるもので、60%を現地法人が、40%を外国法人が所有することができます。

MR. IEMURA: なるほど。タンパカンプロジェクトは、FTAAの下にあります。資本が100%所有できることを意味する。

MR. JAIME: はい。

MR. IEMURA: (日本語を話す) わかりました。ありがとうございます 次へどうぞ。

MR. JAIME: それでは、Semiraraをいくつかご紹介しましょう。私が知る限り、現在露天掘りをしている唯一の上場株だと思うからです。フィリピンでは今、他にストップ高はありません。露天掘りをしているのです。そのためか、この四半期には大きな収益を上げています。皆さんは輸出額や輸出先などの統計がお好きだと思いますが、これは四半期ごとの輸出額です。まず輸出が69%、国内が31%で、69%のうち中国への輸出が少なかったと思います。特に中国は、ウクライナとロシアの問題を考慮して、国内での生産量を増やしたようです。また、オーロラ社は長い間、輸出の多角化を目指してきました。今期は韓国への輸出を増やし始め、輸出の10%が韓国からのものでした。残りの18%、あるいはその他の地域は、少しは日本にあると思いますが、今はまだ中国が中心で、次に韓国ですが、おそらく韓国への輸出を増やしているのでしょう。

MR. IEMURA: 実際に似たような採掘場は、MTSAとFTAA、どちらの下で運営されているのでしょうか？

MR. JAIME: いや、思うに、セミララの採掘場は、外国法人が持っているわけではないと思うんです。サムライ自身がサマラ、サムライ島、あるいは鉱山があるところを運営しているのだと思います。外国の事業体がそこを所有しているとは思えません。そうですね、ジェフ？

MR. JEFF: 鉱業側を所有する外国企業は存在しないのです。

MR. IEMURA: セミララの鉱山側、いや、外資の注入はない。

(日本語を話す)

MR. IEMURA: APXの開発候補地は露天掘りの可能性はありますか？

MR. JAIME: 今現在、それに関するニュースはありません。APEXとPhilexについては、ここ数週間、APEXマイニングと話をしていて、彼らが露天掘りをしない、する必要がないということは事実としてわかっているのです。コスト面にも原因があります。また、環境に対する潜在的な影響についても、彼らは非常によく理解しています。

MR. IEMURA: 露天掘りのコストは、坑内掘りよりもはるかに低いですね。

MR. JAIME: そうですね。でも、地域社会からの苦情や問題があるかもしれませんね。そうでしょう？環境問題など。

MR. IEMURA: 環境問題。

MR. JAIME: だから、ちょっと予想がつかないんです。

MR. JOSE: 金、金のプロジェクトがあるからだと思います。20年に発表された研究によると、2013年か2012年だと思いますが、私はその研究を見直さなくてはなりません。金鉱は地下の少し深いところにあり、そこに到達するために露天掘りをするのは本当にコストがかかるのです。穴を掘って、そこに行って、水平方向にドリルで金鉱を掘り当てる方が賢明なのです。

MR. IEMURA: (日本語を話す) わかりました、ありがとうございます。次へどうぞ。

MR. JAIME: マンデルのベースとなる貴金属に焦点を当てるとのことです。金や銀に注目するのか、それともニッケルなどに注目するのか、ということですね。そう、ニッケル鉱石です。先ほど、フィリピン中央銀行が1年ぶりに金利を引き上げ、インフレのために金利を安定させたという話をしましたが、エホバの人たちと話していて、私たちは、貴金属よりもニッケルなどの卑金属に注目する方が良いと思いました。

MR. IEMURA: というのも、莫大な投資が必要だからです。

MR. JAIME: そうですね。そして、一般的に金利が上昇すると、貴金属は全般的に苦しくなると思います。一方、ベースメタルは、特に今の時代には少し強いと思います。しかし、サプライチェーンの問題や、特に商業的な用途のために、少し強くなっているのです。多くの企業や外国企業が、テレビ用や電気自動車用として使用していると思います。ですから、まだ大きな需要があることは明らかです。ですから、私たちはむしろこの分野に焦点を当てたいと思います。

MR. IEMURA: 貴金属の動きは、興味深いハイエンドの高金利の反転、金利が高くなるにつれて、貴金属価格が低くなるということですね。これは一般的な動きです。

MR. JAIME: ええ、少なくとも私が理解したところではね。

MR. IEMURA: 一方、ニッケルは、より工業的なものを示しています。

MR. JAIME: もっともっと必要とされているのだと思います。

MR. IEMURA: (日本語で) 次に行ってください。

MR. JAIME: もし私がニッケルとFNIをお勧めするとしたら、特にニッケルは輸出量が多いので、お勧めできると思います。

MR. IEMURA: そうですね.....わかりました よし

MR. IEMURA: (日本語で)わかりました。 ありがとうございます。次へどうぞ

MR. JAIME: さて、今回も金融政策、インフレ、金利についてのお話ですが、もしご興味があればどうぞ。明日の午後3時からです。

MR. IEMURA: 明日はどんなことが起こるのでしょうか？

MR. JAIME: インフレと金利、金融政策とフィリピンについて、もし興味があれば、そして時間が空いていれば参加することができます。

MR. IEMURA: あ、セミナーとかあるんですか？

MR. JAIME: はい、そうです。

MR. IEMURA: どうすれば、どうすれば参加できるのか？

MR. JEFF: これは実質的に、私たちがBSPを招待した最初のイベントです。このイベントを主催するフランシスコ副総裁は、私たちの中央銀行がどのようになるかという情報を私たちにもたらしことを歓迎しています。そして、特に金利の観点から、私はあなたが本当に出席しなければならないと思う。なぜなら、彼女はあなたの投資パートナーや同僚のいずれかを持っていたどのくらいの金利は、どのくらい、彼らは同様に金利を上げるつもりです。そして、フィリピンに何が待ち構えているのか、特に流動性が懸念されるとき。というのも、これは私たちにとって初めてのイベントだからです。

MR. IEMURA: このイベントに参加するためのリンクを知りたいです。

MR. JAIME: ああ、リンクを送りますね。

MR. JEFF: マルガから連絡があると思います。

MR. IEMURA: 面白そうですね

MS. MARGA: はい、すべてのクライアントにリンクを送りました。先週の土曜日にEメールで送りましたが、もう一度マリアンヌに送りますので、直接受け取ることができます。では、明日午後3時（フィリピン時間）に

MR. IEMURA: (会場からの質問を確認しましょう。

MR. IEMURA: 先週、この問題で生産される石炭のうち、65%は国内使用と言いましたね。間違っているかもしれませんが。65%は輸出用です。

MR. JAIME: そうですね。少なくとも四半期分については。繰り返しになりますが、もし私が混同していたら申し訳ありません

MR. IEMURA: 輸出向けが65、国内向けが35 この問題は、ローカルとボリュームに分かれて5050コールを維持している。地元の石炭需要の90%はセックによって供給されている。

MR. JAIME: これは正しいです。

MR. IEMURA: そうですね、ありがとうございます。

MR. IEMURA: (日本語で)

MR. IEMURA: 銀行セクターについての2つ目の質問ですが、一般的に銀行セクターは金利上昇の恩恵を受けていますが、フィリピンの銀行のパフォーマンスはまだ正しくありません。なぜ銀行の株価は上がらないのでしょうか？BFVでさえ、すでに利上げを始めています。どうなのでしょう？

MR. JEFF: これにはいくつかの見解があります。まず1つ目は、金利を上げることは、主にスプレッドの関係で銀行にとって良いことですが、この融資を活用するためには、需要も回復しなければなりません。つまり、これは私の

セグメントローンです。経済が回復してくると 最近も第1四半期に売上が改善し、持ち直しました。しかし、これはトヨタ自動車だけの話であって、業界全体では1%台と横ばいでした。

MR. IEMURA: どれだ？

MR. JEFF: しかし、トヨタ自動車は14%も伸びたのですが、自動車販売台数は業界全体で1%しか伸びませんでした。つまり、フィリピンは再開していますが、消費者が実際に消費に向かうという点では、まだ再開していないのです。ですから、銀行業界にとって最も重要なことは、利ざやを拡大することよりも、むしろ融資を増やすことだと思います。

MR. IEMURA: つまり、銀行セクターはこれから、株価は上がっていくということですね。

MR. JEFF: 確かにローン金利は上がり始めていますね。しかし、多少の圧力はかかると思います。ローン需要で上がるのは限界があるでしょう。私はローン需要、特に夏場のローン需要に注目しています。これは市場空間に対するものでしょう。住宅ローンもそれほど好調ではありませんし、実際、住宅ローンがどうなろうと、デフォルトと呼ばれるような金利上昇の可能性があるため、緩和されるかもしれません。もちろん、消費者部門のもう1つの柱はローンです。先ほども申し上げましたが、業界全体として、他のローンはそれほど急には回復していません。ですから、特に銀行業界にとっては、これが課題だと思います。ファンダメンタルズ、トレーディング、つまり株式市場の動向を年間を通じて注視する必要があります。銀行株は主に外国人によって買い占められ、特に次期政権が明確でないことから、センチメントはあまりよくありません。そのため、今後1-2ヶ月はこの点にも注意が必要です。

MR. IEMURA: (日本語を話す)

MR. IEMURA: 私の様々な用語の中で、いくつかの他の人は、先の州の農民とマークのアップサイドとして約2倍を推定している市場が増加している。いかがでしょうか？マークスの冒険についてですが、マークスの株価を高く評価するアナリストがいます。時価総額も現在の2倍とするアナリストもいます。

MR. JEFF: 銀行業界を付け加えればいいのです。CPDOが1.18から1.15まで下がったら、今お話したようなことがあっても、実現すべきだと思います。また、Metrobankの場合、50を下回るようであれば、48から45くらいになったものもあります。少なくとも2~3年先まで見越してのことだと思いますので、Marc Venturesについてはそのように考えています。

MR. IEMURA: うん、そうだね。 Marc Venturesに期待することは？

MR. JAIME: マークについては特に何もありません。今のところ意見はないです。ジェフはどうですか？

MR. JEFF: Mark Venturesは、グローバル・フェア・ニッケルと同格だと思います。もちろん、フィリピンでのニッケルの生産階層から言えば、ピンピンはニッケル・アジアです。私の記憶が正しければ、彼らは輸出をしていると思うのですが。私の記憶が正しければ、彼らは1,600万トンのニッケルを輸出していると思います。800万トンを生産すると思います。そしてMark Venturesは、私の記憶が間違っていなければ、その半分の200万トンから300万トン程度です。ですから、ニッケル産業全体としては、価格が1ポンドあたり11ドル以上で維持される限りは、この話が続くと思います。この2カ月間、価格が安定しているのは、主に中国の封鎖が原因だと思います。中国が開放されると、フィリピンのすべてのニッケル生産者は、中国からニッケルを輸入することになります。

MR. IEMURA: マークベンチャーはニッケルを生産しているのですか？そうです。それとも他のものを生産しているのでしょうか？

MR. JEFF: 主にニッケルです。そうです 生産量の約90%はニッケルです おそらく銅も取れますが とても大丈夫です

MR. IEMURA: わかりました。

MR. IEMURA: しばらくコロナの症例はほぼゼロでしたが、再び症例報告が増えています。これは感染症対策強化につながるのでしょうか？ということで、現在、フィリピンでのCOVID-19の症例はどうでしょうか？

MR. JAIME: まあ、症例は増えてます。

MR. IEMURA: どんどん増えているんですね。

MR. JAIME: しかし、選挙が終わったので、おそらく件数は少し減るでしょう。警戒レベルが厳しくなったという情報はありませんし、週に5日は事務所に行かなければならないので、通常の状態に戻っているような気がします。

MR. IEMURA: つまり、政府はそれほど厳しくしようとは思っていないんですね。

MR. JAIME: はい。

MR. IEMURA: （日本語で）通信以外のビジネス、つまり私が言うところのオンライン決済のビジネスを成長させ、拡大させることができるかどうか、大きなポイントになると思います。

MR. JAIME: ええ、その一つです。それがおそらく彼らの主なものだと思います。また、おそらくワクチン接種のプログラムも拡大したと思います。

MR. IEMURA: ワクチン接種プログラム

MR. JAIME: そう、今はヘルスと呼ばれているんです。そう、彼らはそれを拡大し続けているのです。他の事業もあると思いますが、おそらくこれらが主なものだと思います。

MR. IEMURA: さて、一般向けの予防接種サービスとはどのようなものでしょうか。

MR. JAIME: それについては、あまり情報がありませんでした。ただ、ワクチン接種のプログラムがあることだけは知っていて、それが彼らの利益につながったのかもしれない。

MR. IEMURA: ここから収益が3倍になった。

MR. JAIME: 非通信事業者の収入 うん。

MR. IEMURA: (日本語で) 質問は以上です。ありがとうございました。ウィークリー・ラップアップにお進みください。

MR. JAIME: マーク・ベンチャーズとFNIについては、もう一つあると思うのですが、どれがそうなのかわかりません。正直なところ、よくわからないんです。でも、Marcはもっと安いと思うんだ FNIの株価は2ペソ、Marcは1ペソで取引されています。バリュエーションという点では。そうですね、よく分かりませんが、Jeffは何か考えていることはありますか？

MR. JEFF: そうですね、実質的には同じですとお答えしようと思っていました。しかし、バリュエーションという点では、FNIの簿価は2.4です。だから、ちょっとプレミアムがついている。1倍くらい。ブックPBRに対して1.4倍くらい。そうです、1.5倍です。

MR. IEMURA: マルクの方が低い場合.1.3. ほぼ同じです。なので、どちらかを選ぶのは難しいです。

MR. JEFF: しかし、私としては、Marc VenturesよりもFNIを選びたい、見てみたいと思います。生産量も多い。

MR. EIMURA: マルクとFNIでは、制作の観点からコレクションにどれだけの違いがあるのでしょうか？倍くらい？

MR. JEFF: マルクは年間約300万トン。FNIは800万トンの生産が可能です。特に新しい鉱山では、最近、モラルの撤廃を開始しようとしています。だから私はそれを見てより多くのアップサイドがあると思うFNI、残念ながら彼らはまた、両方の非常に最近取引されていません。。

MR. IEMURA: では、FNIはもっとアップサイドがあるかと？

MR. JEFF: まずニッケルの安定性に注目し、次にFNIとマークという2つのレイヤーに注目します。しかし、唯一のアップグレードは、マルクのためのより高い生産です。彼らは次期政権に現在の利点に近いので、アップグレードはもっとです。つまり政治的な理由の方が大きい。

MR. IEMURA: ありがとうございました。ウィークリー・ラップアップへどうぞ。

WEEKLY WRAP UP (JAPANESE)

MARIANNE: 皆さんこんにちは！ABキャピタル証券株式会社のウィークリー株式市場ラップアップによろしく！今日はハイメさんに今週の株式市場レポートをしていただきます。

MR. JAIME :なるほど、数週間ぶりにPSEiがようやく平均的に上昇しましたね。でも、それが長く続くとは思っていませんが、つまり、先週は良い兆候だったということです。ニュースがあります、アメリカの株価指数は弱気のままです。おそらくしばらくは弱気なままでしょう。なぜなら、消費者は自分の支出をどうしたいのか、少し警戒しているように思うからです。それは、ウォルマートやターゲットなどの企業にも反映されています。中国株は、中国製品に対する関税引き下げの可能性がある投資家の方法と同様に、ほとんど変化しません。それは、ジョー・バイデンへの得点によるという。先週からフィリピンのニュースこのリソースがあったフィリピンの海運会社は、このおそらくチェルシー物流ホールディングスのような海運会社は、彼らはおそらくこの影響を受ける可能性があるので、運賃を上げる可能性があります。

MR. IEMURA: ポジティブな影響ですか？

MR. JAIME :ええ、つまり、そうですね、ポジティブな影響だと思います。

MR. IEMURA: 実際、日本の海運会社は本当に高くなってるんですよ。というのも、彼らは料金を高く設定しているのです。

MR. JAIME: 一時的なものなののでしょうか、それとも長期的なものなののでしょうか？

MR. IEMURA: かなり長期的に続く可能性があります。船会社は Chelsea Chelseaと他に何かありますか？

MR. JAIME: おそらくこれが主なものだと思います。

MR. IEMURA: 2goは？

MR. JEFF: いえ、彼らはもっとローカルなロジスティクスをやっています。

MR. IEMURA: 基本的に運送会社はチェルシー、チェルシー、ロジスティックです。見ておかないと。

MR. JAIME: ええ。見てみましょう。

MR. JAIME: 企業ニュースに移りたいと思います。特に、GTキャピタルにもっとスポットを当てたいと思います。彼らはできます。そうですね、彼らは四半期純利益が7.1%増加しました。メトロバンクとトヨタが大きく関係していると思います。では、GTキャピタルの自動車事業への支援は本当にうまくいっているのですね。特に、私はまだ、おそらくガソリンバックを見てみることをお勧めします。メトロバンクの価格はまだまだ上昇する余地があると思います。現在50ペソ前後だと思いますが、数週間前に60ペソまで上がると予想しました。

MR. IEMURA: GTキャップも過小評価されていますね。

MR. JAIME: GTキャップの公正な評価額を出したかどうかはわかりませんが、同様に過小評価されていると思います。はいですね。オーケー、オーケー。ええ、私は評価をしていません。

MR. JAIME: 新しいIPOの話をご存知でしょうか。エスペナックほど大きな会社ではありませんが、彼らはIPOをリリースしたばかりでしょうか？彼らは1株2ペソ程度でIPOをリリースするのだと思います。そして、9倍になると予想しています。

MR. IEMURA: そうですね、IPO後にSPネットが2倍になりましたね。ということは、ソーラーパネル事業が大きく伸びる可能性があるのですね。

MR. JAIME: そうですね、そうです。

Mr. JEFF: 先週から強い動きをしている、あるいは今週も続くと思われる理由は何でしょうか。

MR. JEFF: SPネットになりますそのうちの1つです

MR. IEMURA: 終日とSPネットはAPに含まれることになりますね。

MR. IEMURA: はい。そうです。そうですね。ありがとうございます。ありがとうございました。はい 私の質問は以上です。

MARIANNE: ハイメさん、家村さん、今日はありがとうございました。ABキャピタル証券株式会社による週刊株式市場ラップアップはこれでおしまい。ありがとうございました、また来週お会いしましょう。

